



唐竹 晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

よいことのために手を取りあおう Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツオ

第2570地区ガバナー 坂口 孝
第3グループ
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください!

第3186例会 2025.9.3

— 基本的教育と識字率向上月間 —

天候 晴 (NO.62-10)

会長 中里忠夫 幹事 都築敏夫

例会日 水曜日 (12:30~13:30) 当番 細田(伴)君、神田君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- 点鐘 中里忠夫会長
- ソング 君が代 奉仕の理想
- 四つのテスト齊唱 中川職業奉仕委員
- 卓話 斎藤龍一様



【入会式】

◎新入会員紹介

福地君

森住麻衣 (もりずみまい) 会員



飯能市仲町生まれ。飯能第一小学校、飯能西中学校、飯能高等学校を卒業され、日高市の特別養護老人ホームで介護の仕事に携わっておられました。ご出産後、しばらくは子育てに専念され、H28年12月、明治安田生命に入社されました。現在、坂戸市在住。5年間の

営業経験、実績が認められ、管理職である支部マネージャーに登用され現在に至っています。社内で営業成績と品格を備えた人材に与えられる「アドバンス資格」を有し、所属する飯能営業部を代表する人材であると評価しております。今後、皆様のご指導の下、RCでのご活躍を期待しております。どうぞよろしくお願い致します。

◎森住会員挨拶

この歴史と伝統ある飯能RCに入会させて頂けたこと、とても嬉しく思っております。分からぬことだらけで、皆さんのご指導を頂きながらになりますが一生懸命頑張らせて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

◎中里会長よりバッジ装着／歓迎の言葉／誓いの言葉／中里会長よりRCの額・四つのテスト・バナー贈呈／矢島(高)RC情報委員長より資料贈呈／都築幹事より会員証贈呈・所属発表「出席向上」／記念撮影

◎乾杯：半田パスト会長

森住さんが一日も早く皆と和まれるようにそして良きロータリアンになれますことをご祈念申し上げて乾杯をします。おめでとうございます(拍手)。

【会長報告】

本日は大変お忙しい中、斎藤理事長ようこそお越し頂きました。卓話よろしくお願ひ致します。

今年度初めての入会式。当クラブとしておそらく5年振りの女性会員。大変嬉しく思います。飯能RCは優しい会員ばかりでございますので安心してロータリーライフを楽しんで頂きたいと思います。

先日の飯能日高合同公式訪問例会も皆様方のご協力を頂き無事終了致すことができました。有難うございました。本日、理事会でご報告しましたが、10月1日例会後、今年度最初のパスト会長会議を予定しております。お忙しい中申し訳ありませんがご協力をよろしくお願い致します。

【幹事報告】

先週のガバナー公式訪問、皆様のご協力により無事終了致しました。有難うございました。9月20日入会5年未満の会員研修セミナーは登録時間が変更12時20分～13時になりました。出席予定者にはご案内済みです。2024-25年度「年度報告書」が皆様のご協力により完成、本日配付しました。10月1日例会後13時45分よりパスト会長会議。ご出席をお願いします。次週10日は休会、17日は夜間例会です。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会

9月13日のゴルフの組み合わせ訂正版を配付。9月17日夜間例会は18時点鐘。10月22日夜間例会の出欠もお願いします。10月14日、日高RCチャリティーゴルフの参加受付は本日終了。現在5組です。参加希望の方は本日中にお声掛けください。

◎前年度S A A

My ROTARYに登録したのに反映されていない方に対しては本間委員長のご尽力の下、米国本部と直接やり取りして、先週位には対象の方に米国からメールが届いていると思います。書いてある通りに作業して頂けるとしっかりと登録ができると思います。ご不明な点があれば私、事務局、本間委員長にひとこと言って頂ければと思います。

【出席報告】MU・無届欠席0 大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
69名	4名	60名	86.96%

【結婚・誕生日祝】

皆川親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

鈴木(勝)君、町田君、井上君、小崎君、平沼君

◇結婚記念日おめでとう

大野(泰)君、都築君、大野(康)君

◇会員誕生日おめでとう

木川君、小崎君、大津君、神田君、土屋君

◇夫人誕生日おめでとう

大野(泰)夫人、田中夫人、天ヶ瀬夫人、森夫人

皆川夫人

【S A A報告】

◎ニコニコBOX

- ・斎藤理事長、本日は卓話よろしくお願ひします。
 - 細田(伴)君、細田(吉)君、矢島(巖)君、田辺君
　　沢辺君、服部副会長、神田君、福島君、都築君
 - ・入会記念日：鈴木(勝)君、井上君、平沼君
 - ・結婚記念日：大野(康)君、都築君、大野(泰)君
 - ・会員誕生日：木川君、土屋君、神田君
 - ・夫人誕生日：森君、大野(泰)君、皆川君
- 本日計51,000円、累計額250,211円。
- ◎17日例会当番は半田、川口会員です。

【ロータリーの友】

吉田(茂)雑誌委員

9月号。派手な表紙絵は愛媛県の名物を描いたとのこと、道後温泉等も描いてあります。横組P3、アレツオRI会長メッセージ。P5「いきなり舞台へ」、P8からはRI会長へのインタビュー。どんな方か目を通されては如何かと思います。P12『友』を読まずに損をしていませんか？雑誌をどのように読むと学びに繋がるのか。日頃の活動や知識の幅を広げるための「学びの道具」として『友』を有効に活用できることを感じさせます。P14「こういうところに目を通してしている」等、ご参考にしてください。縦組P2「生成AIの全貌」大規模言語モデルや拡散モデル等、今の時代を象徴するテーマのお話。「学びの道具」としましたが『友』にはこのような先端の記事もあります。特集や事例、体験談、最新技術の話題まで幅広い内容の詰まった9月号。気になる記事に目を通して頂きRC活動のヒントにして頂ければと思います。

【卓　話】

講師紹介

大野(泰)出席向上委員長

「公益社団法人飯能青年会議所」(以下「飯能JC」)第52代理事長。37歳。2019年、飯能JC入会、今年で6年目。副委員長、委員長、実行委員長、埼玉ブロック出向、関東地区出向等をご経験後、本年度2025年度の理事長に就任。本業は「(株)飯能清掃センター」代表取締役。営業職も兼務し、一般・事務系廃棄物の処理に従事されています。

青年会議所理事長として大切にしたいこと

公益社団法人 飯能青年会議所 理事長 齋藤龍一様



私、例年の理事長と比べると少し変わっていると言うか皆さんと感覚がズレている部分があるようで、気になる方もいらっしゃると思うのですが、全力で取り組んでおりますので是非とも聞いて頂ければと思います。

1988年5月生まれ、37歳、A型。飯能生まれのストックホルム育ちです。長い期間ではないのですがいろんな国に留学をしていました。最終学歴としては中国の大学を卒業しております。結婚して6歳と3歳の子どもがおり、今年小学校に入りましたJCをやりながら家庭のことも同時にやるというのが非常に難しいなと感じております。本業の方は入社して11年目。まだ父と2代表の状態ですので、代表取締役ですが普段は営業職として何かお困りの際には皆様のところに伺わせて頂いているという状況です。

絶賛減量中であります、年内にあと15kg程度せられたらなあと考えております(笑)。

J Cには2019年に入会しました。入って1、2年程は何にも参加せず「JCって何なんだ」というような状態が続いたのですが、副委員長になってからとんとん拍子で2025年に理事長に就任してしまいました。理事長になる前、「ゴルフやらなきや理事長になれないよ」と言われ、ゴルフやるんだったら理事長なんかやらないと決めていたのですが、いざ理事長になってゴルフをやってみると楽しいなというところで日々練習に励んでいますが、なかなか一緒に回れるメンバーが居らず、誘って頂けますとすぐに飛んで行きますのでよろしくお願い致します。

私にとってJCって何なんだというところなのですが、先輩方がたくさんいらっしゃいますので今更と思われるかもしれません、20歳から40歳が集う集団で、奉仕・修練・友情の三信条を基に活動し、地域貢献・人づくり・まちづくりを推進していく、と言わわれて私が当てはまるのは20歳から40歳という事実だけ。三信条が完璧に落とし込まれているかと言うと、理事長をやっている今でもおそらく足りていないし理解していない部分があるのではないかと考えております。ただこれに関しては何かを読んで分かるものでもないしどうにか考えたりひたすら実践を続けることでしか得られないことであり、1年

ごとに役職が替わる独特的のシステムなので、去年分からなかつたことが今年分かるようになって今年分からなかつたことが来年分かるようになるのではないか、繰り返し行うことでいつか理解できるのではないかと思っています。

現状、飯能JCは「地域貢献」はおそらく少なからずしているはずです。「人づくり・まちづくり」に関しては〈じこまん〉の部分が非常に多いのではないかのかなと感じています。「自分達で決めたことだから絶対に実行しなきやいけない」と、これは本質的に問題や課題があるのかというところを無視して、何となく「これをやった方がいいんじゃないのか」というちょっと浅い状態をここ何年か感じています。「本当にこれをやっていくんだ」とするのであれば飯能JCは本当に変わる必要があるなと思っております。

そんな私の、理事長としての1年のスローガンは「**本気で遊べ**」です。込められている想いに関してはいろんな受け取り方ができると思います。ただ、本気で行なっていれば「遊ぶ」が本当にふさげたことにはならないと思うのです。これはいくつになっても変わらず、自分の子どもを見ても、本気で遊んでいる姿は何よりもカッコいい。ただ、大人になると徐々に本気で遊ぶというのが無くなってきて、「これ位やつとけばいいだろう」と。でもそれは人から見られているという状況が意識できていないのではないか。何より自分達がやっていることなのだから本気で取り組まなかつたら本当に時間の無駄なのです。

この1年、私が「仲間と挑戦」して「地域と成長」し「未来への責任」をどうやって果たしていくか。私はスローガンのほかに裏テーマとして**今会える理事長**というのを掲げました。歴代理事長を悪く言うつもりは一切ございませんが、理事長という責務、職責というところでどうしても声を掛けづらかったり少し距離を感じたりしてしまう。私はそんな状態を変える必要があるかなと思って、今、誰かが作業していたら一緒にやってみたい、どこにでも顔を出してこの問題で困つたらどうしよう、誰かに相談したいという時に一番の相談者になれる、というのを意識して理事長を始めました。

大切にしたいのが「①人とのつながり」です。信頼関係がすべての基盤、仲間・地域との絆を大切に、共に歩む姿勢…これは今言った通りです。理事長や副理事長、役職のある人間にはどうしても壁ができる。上に立つ側は一切その辺は気にならないのです。何故ならそういうふうに毎年毎年やっていって一段ずつ上っているものなので壁だとは思わない。ただこの1年で入った人間は「あの人達は何を考えてこんなことを言ってくるんだろう」「自分達は何を信じてやれば良いのか」「ただ言われたことをやるだけで良いのか」と自問する1年で、本当につまらないなと私は当時感じていました。そういう人間を出したくなかったので、信頼関係がすべての基盤だと思っています。今年1年がそうなっているかどうかは今年が終わらない限り誰にも証明できません。ただ、私は自信をもってこの1年が最高の1年であり、順調に8か月が過ぎたというふうに感じております。

大切にしたいこと「②行動と挑戦」。考えるよりまず一步踏み出す。これは、大人になったからできなくなつたんじやないのかなというところと、本業をし

ながらJC活動を行うということに対しての理解度がまだ足りていないのかなというところですね。「まずはやってみなよ」それができれば何の苦労も無いのですが、なかなかできないと思います。失敗から学び、挑戦を続ける。一步踏み出さなければ失敗することも成功することもないので。ただ、その挑戦が何を求めてやっているのか理解してもらうのがすごく大事。私の場合、特段、メンバーに対して「これをやってください」という指示は出しません。あなたの考える一番いいJCって何ですか。実際にやってみてください。それに対して「違うんじゃないかな」等、否定は一切しません。何故なら彼らの思う1年がうまくいくかどうかは彼らの行動と挑戦によって結果が変わるから。「行動が未来をつくる」やらなければ何も変わらないし挑戦しないことにはずーっと同じまま。「単年度制」いい言葉ではありますが、ずーっと同じ状態が続いてしまいます。

次に「③地域への想い」。「地域に生かされ地域に恩返し」自分で書いてちょっと難しいなと思ったのですが、特段、飯能日高以外のエリアを大事にしないというわけでもなく、自分達のこの土地を愛しているがゆえに何かできることはないかということです。メンバーが徐々に減っているというのは事実ですが減っているから活動ができないわけではないんですね。まちに大きなインパクトを与えようと思った時、本当にまちに対して大事なことを突き詰めていけば間違いなくそれは恩返しになると私は思います。「次世代に誇れるまちを残したい」今、37歳なので現役としてはあと3年程。3年で何か変えられるかと言うと非常に難しいのですが、「こういうふうになつたらいいな」という想いを残すことはできると思うのです。この想いは先輩から受け継いだものがあります。ただそれがずっと想いのままに終わらず、必ずどこかで形になるようなことを定期的に行っていく必要があると考えております。

「印象的な活動事例」私のイメージではJCの例会は天候が悪ければ室内開催に変更または中止もしくは延期になることが多々あったのですが、日高市で行われた「巾着田春まつり」の**わんこそば大会は台風の中で行いました**。何でそんなにやりたいのかと聞いたら「自分達がまちを盛り上げるために企画したんだからどうしてもやらせてください」とのことです。理事長として「だったらやってみよう」と思いました。予定していた人数は集まりませんでしたが、それでも参加して頂いた人、行政関係者の方を含めて、「またできたらいいね」という声がありました。ただ、「できたらいいね」というのも私達がやるのではなく誰か他団体の方と一緒に、もしくは、引継ぎ手を探したらしいのかなというふうに思っております。**地域清掃運動**は決して悪いことではないのです。ただ、私の中でJCが地域清掃運動を行うということは無いんじゃないかなというふうに思っていました。本業が清掃業なので清掃運動に関しては大賛成なのですが本当にこれを現役メンバーが一緒にやってくれるかというのが不安でした。ただ、声を掛けると集まってくれるのですね。これも、今まで同じような課題はたくさん見えていましたが実際に運動として起こったのは私が入ってから初めてのことです。**広報誌のアンケートが100件を超える**ました。飯能JCは毎年

「はんなーら」を発行させて頂いております。毎年のように携わっていますがアンケートの集計結果は大体20～30件程度でした。今年度は発行号数を3号から2号に減らし、ページをすべてフルカラーに変えました。それ以外にもSNS、外国語版を出したり等、より多くの方に見てもらう機会を増やすことができました。その結果としてなのか、アンケートの結果が100件と、通常の3、4倍程集まり、次号のためになる意見をたくさん頂きました。今後共これが続けばいいのかなというふうに思っております。

■理事長としての学び

「リーダーは背中で示す」と言いますが、私は正面を向くべきではないのかなと思っております。全員が同じ方向を向いているのであれば背中で語ることはすごく大事なことだと思います。ただ、すべての人間が同じ方向を向いて何かを行うというのは本当にハーモニーがなくて、中にはよく分からない方向を向いている方も居ます。そんな時「いいからついて来い」ではなく、一旦向き合って「俺達は何をするんだ」「こうするんだ」という意識統一をすることが何よりも大事だと思うのです。リーダーなら背中で語れ、示せとよく言われているのですけれども私はそれは次の段階なんじゃないのかというふうに思います。

「仲間を信じせる勇気」先程も言ったように、メンバーに対してあれをやってください、これをやつてくださいという指示は出しません。ただ何も言わないわけにはいかないので、「あなたの思う最高の状態をまちの課題と一緒に解決してきてください」と言うのです。理事長としてのビジョンが無いわけではありません。調査研究を行い、問題に対して真摯に向き合っているメンバーが居る以上、そのメンバーが考えることを解決するのが最大の1年になるのではないか。任せるのってすごく勇気が居るんですよ。私達は「理事長所信」というものを書いて1年間の方向性を示すのですが、それを示した上で私の所信には特にオーダーが無いのです。「あなたならどうしますか」という終わりになっています。こんなことをすれば好き勝手やられてしまうんじゃないかな。JC理事長としての1年がどうなるか分からない。ただ、私はメンバーを信じたのです。全責任は私にありますし、うまくいけばそれは素晴らしいものになる。継続できるかどうか分からないのですけれども自分一人で考えるよりも我々は25人居りますので25人で考えた方が圧倒的に効率もいいし生産性も高いというのは間違いない事実です。それを任せられるかどうかというのはトップに立つ理事長の判断なのかなというふうに思います。それができるかどうかというのは年々の理事長にもよると思います。圧倒的リーダーシップの下、自分の考えたことをすべてタスクとして落とし込んで、指示として任せるというのも一つですが、私の場合はすべてを任せるということがちょっと例年と違うのかなというふうに思っています。

結果、「責任を背負い自ら成長」となるわけです。すべてがうまくいっているわけではありません。もちろん任せている以上、私の知らないところで勝手な動きをする者も居ます。ただ、それが全くもって悪かと言われると私はそうは思いませんし、何故それをしているのかを聞けば、私が動けなかつた、一歩

遅れてしまったということの方が大きいので、私としては「今会える理事長」を掲げながらそういったことが起きているという事実に対して申し訳ないなという気持ちと、次は絶対にその場に居るんだという想いがあり、自分自身にかけた負荷を常に感じながら、これも成長の一歩なのかなというふうに思っております。

■未来への想い

「次世代にバトンをつなぐ」私は52代理事長で、私の前には51代、50代…といらっしゃって、たくさんのものを直前の理事長から頂きました。「このバトンをつなぐのが君の役目。1年かけて次の年につなぐんだよ」というふうに言われた時、次の理事長をつくるのが私なのか、理事長というのは次々出てくるものなのかが分かりませんでした。しかしながら実際に始めてみると「この男にバトンを渡そうかな」というタイミングと出来事がたくさん出てきました。それ自体が〈仕組み〉になっているのかどうかは分からないのですが、どこかで、自分ではない誰かに、次を任せる覚悟をしなきやいけないタイミングというのが出てきます。これは私の次以降にも永続的に続していくことなので、この想いを私は次につながないといけないです。

「地域の笑顔を増やしたい」先程「大切にしたいこと」の中でも言ったのですが、楽しくなければやる意味はない。自分達が楽しいだけではなく、地域自体にその楽しいことを落とし込みたいのです。〈笑顔〉は子どもだけじゃなくて大人もできる。ただ、生きていると、年をとればとるほど、〈笑顔〉って減っていくのかなと思いますし、私自身がなかなか大人になり切れていないと言うとちょっと語弊がありますが、私は毎日楽しいのです。私がこの楽しいというのを皆に伝えることができたら、もっともっとまちが良くなるのではないか。まちというより人生が豊かになるのではないかというふうに思います。ただ、私がこの想いを発信できるのは2025年度、理事長職をお預かりしている間だけなので、何とか残り4か月で今以上にまちの〈笑顔〉を増やせたらなというふうに思っております。

そのためにも「挑戦を続けていく」。できる・できないにかかわらず。できないのであればできるように、できるのであればより良くできるように。この想いをつなぎながら、また来年2026年、第53代理事長に託せたらなというふうに考えております。

人とのつながり／挑戦／地域への想いを大切に…こんなことを考えながらJC活動を行うのは当たり前だ…そうなのかもしれません。ただ、私は本当に自分のことだけでも精一杯で、こんなことを言ってしまうと何ですが時代が変わってきています。あるべきリーダーの形も今、おそらく変わっていると思います。私はメンバーと共に最大限に、このJC活動と本業と私生活、この3つのバランスをとるために多少無茶を言いながら「今までとは違うことをしてくれ」と言い続けています。理事長にしかできない責務はこれだと私は思いますし、誰よりもJCに対して真摯に向き合っているという自信があります。

残り4か月、どうか皆様のお力添えを頂ければというふうに思いますので、どうぞよろしくお願ひします。本日は貴重な機会を有難うございました。